

ドイツ・インダストリー4.0 セミナー

労働力不足への対応やエネルギーコスト削減、生産性の向上など、日本と共通の課題を有するドイツでは、中小製造業の競争力強化をはかるため、国を挙げてI o T (モノのインターネット) の活用に取り組んでいます。



本セミナーでは、米国のインダストリアル・インターネットと並ぶI o T戦略である「ドイツ・インダストリー4.0」の最新動向と、ドイツを代表する板金機械・レーザー加工技術設備メーカーTrumpf社のインダストリー4.0への取り組み事例を紹介します。

■日 時 平成 28 年 10 月 5 日 (水) 14:00~17:20 (懇親会 17:20~)

■会 場 横浜情報文化センター6F「情文ホール」(横浜市中区日本大通 11 番地)

■プログラム

(1) 講演1「インダストリー4.0のドイツにおける状況と中小企業への適用策」14:10~15:10

ドイツ・バイエルン州駐日代表部 代表 Dr. クリスティアン・ゲルティンガー 氏

同州のICTおよび製造面での競争力と、中小企業を含むクラスターシステムがインダストリー4.0に至った過程を紹介します。またインダストリー4.0への戸惑いが見られる中で、中小企業の支援事例や、AUTOMATIKA (ドイツ国際オートメーション・メカトロニクス専門見本市) での事例、隠れたチャンピオンと言われる強い中小企業の存在に触れます。

(2) 講演2「中小企業におけるIoTの役割と次世代製造業の展望」15:10~15:55

株式会社KMC 代表取締役 佐藤 声喜 氏 (工学博士)

金型や切削、部品製造を営む中小企業のIoT導入事例、および大手企業のIoT戦略とその取り組みを紹介し、日本流の次世代製造業を展望します。

(3) 講演3「Trumpfグループにおけるインダストリー4.0」16:05~16:50

株式会社エフエーサービス (独Trumpf社 グループ企業)

開発部 ソリューション・ソフトエンジニア Mr. Andre Mahl

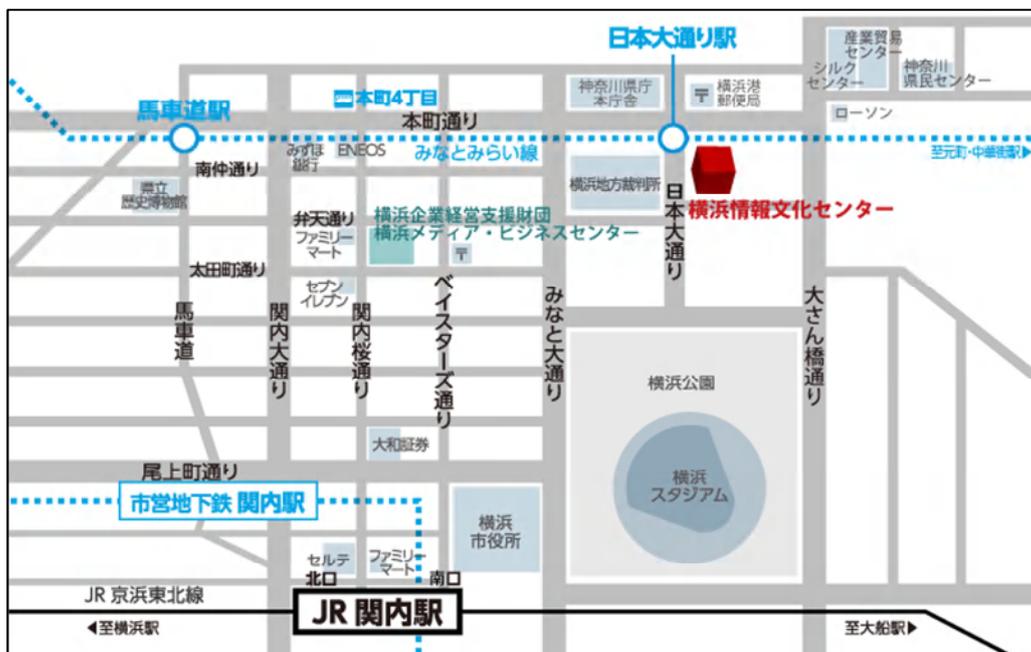
インダストリー4.0のプラットフォーム幹事企業であるTrumpf社が取り組む『材料発注から完成品出荷までのブラックボックス』(ビジネス・プラットフォーム)の工程の説明と、顧客先での活用事例を紹介します。



(4) 質疑応答 16:50~17:20

(5) 懇親会 17:20~

- 参加費 セミナーのみ参加：無料
懇親会にも参加：2,000円（当日徴収いたします）
- 主催 公益財団法人横浜企業経営支援財団（IDEC 横浜）
- 共催 横浜日独協会
- お申込 FAX・メール、またはウェブサイト（<http://www.idec.or.jp/>）
- お問合せ 公益財団法人横浜企業経営支援財団 国際ビジネス支援部 電話 045-225-3730



ドイツ・インダストリー4.0 セミナー 参加申込書

FAX : 045-225-3738 メール : global@idec.or.jp

参加内容 <small>※チェックしてください</small>	<input type="checkbox"/> セミナーのみ参加（無料） <input type="checkbox"/> 懇親会にも参加（参加費 2,000 円）		
御社名			
所属役職		お名前	
所在地			
電話番号		FAX 番号	
メール			

※ご記入いただいた個人情報は、内部資料を作成する目的、実施主体機関からの各種案内を送付する目的のみに使用し、他の目的には一切使用しません。